

ワーキングの内容

①下仲副市長講話 ～テーマ：政策実現に向けたプロセスについて～

- 都心から近い相模原の中山間地域には、大きなポテンシャルがある
- 事業の組立ではしっかり現状と課題を分析することが必要
- 若手ならではの自由な発想で、多くのアイデアを出して欲しい

②チームごとに施策の検討状況を発表、検討

- チームごとに施策立案の背景、現状分析、課題や魅力等について発表し、意見交換
- 施策案の磨き上げに向けた検討



下仲副市長講話



政策実現へのプロセスとは！

各チームが発表した中山間地域における現状、課題、魅力や解決の方向性

A班(働き方)



- 【課題】** ①携帯圏外エリアあり
②農業は鳥獣害との戦い
③新規就農のハードル高い
- 【魅力】** ①活用可能な森林資源残存②食肉資源豊富
③農業を始めたい人向けの土地有
- 【解決の方向性】**
新たな働き方の提案×地域資源の活用

B班(働き方)



- 【課題】** ①農業のみで生計を立てることができない
②新しい事業を企画しても担い手が少ない
- 【魅力】** ①地域で活躍する芸術家、起業家、農家などで、一定のビジネスネットワークが形成されている
②芸術性豊かで独自カリキュラムを用いた学校の存在
- 【解決の方向性】**
『中山間地域の資源』と『森ラボ』のコラボレーションによる新たなイノベーションの創出

C班(暮らし方)



- 【現状】** ①地域経済の衰退➡ ②コミュニティの場の減少➡
③人材のなり手不足 ④人口減少➡高齢化率上昇➡
- 【課題】** 空き家など遊休資産の利活用やマッチング
- 【魅力】** 物件が安く、都心に近く自然に囲まれた暮らし♪
- 【解決の方向性】**
①地域経済の活性化 ②コミュニティの場の形成
③なり手不足の解消 ④若者層・子育て世帯の増加

D班(遊び方)



- 【現状】** 観光客数の減少、交流人口の減少、認知度が低い
- 【課題】** 地域経済の衰退、効果的な情報発信が不足
- 【魅力】** 都心に近く、日帰りでも宿泊でもアクセスが良い
- 【解決の方向性】**
①観光客数・交流人口及び1人あたりの消費額の増加
②観光誘客効果のある「遊び」の開発
③SNSを活用した情報発信の強化

E班(遊び方)



- 【現状】** 観光客数の減少、観光による消費機会が少ない
- 【課題】** 魅力PRの不足、インフラの不足、観光シボルの不在
- 【魅力】** 大自然、各地区の地域性、抜群のアクセシビリティ
- 【解決の方向性】**
①魅力を工夫してPR ②インフラ整備③魅力的な観光事業の展開
→観光リピーター増→交流人口の増加や中山間地域に愛着を持った人たちの移住促進を目指す

F班(繋がり方)



- 【課題】** ①子育て世帯に魅力的な施設が少なく、居住地も点在しているため、子ども・親土の交流が生まれにくい
②働く場所が少なく、若者世代の流出が多い
- 【魅力】** 都心からのアクセスが良く、移住のニーズがある
- 【解決の方向性】**
地域資源を生かした子育て環境を整備することで子どもを軸とした「つながり」を醸成する